



TITLE:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか. 物性研究 2008, 89(6): 999-1000

ISSUE DATE:

2008-03-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/111012>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成20年3月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第89巻 第6号

ISSN 0525-2997

vol.89 no.6

物性研究

2008 / 3

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し議論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文中で引用する時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **76** (2001), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限りします。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集後記

年と共にしがらみが多くなり、回数券で毎月2回も3回も東京へ行き、あまっさえアメリカまでも研究と関係ない用事で出張するに至って、一体何をやっているのかとため息もつきたくなる毎日である。しかしそうした雑用の中での知己の広がりから、全く思いもかけないところで思いがけない講演を頼まれたりすることはストレスの解消に役に立っている。

最近、そうしたストレス解消の一つとして性差科学研究会という場で喋る機会を頂いた。私の講演では陸上競技の記録や小学生向けの模試の成績を調べて、世間に流布している通説の正否を確かめることや、性差がどのように現れるかを明らかにしたつもりであった。前者は今もブルーバックスとして出版されている本中に述べられている暴論、例えば「女子マラソンの記録は何れ男子マラソンの記録を抜く」というものに対するアンチテーゼだけでなく、その本のデータがそもそも信用するに値しない（有体に言えば捏造の疑いがある）ことは明らかに出来た。また、後者での模試のデータ分析で、小学生の段階で「女子は国語が得意で、男子は理数系が得意」という顕著な性差が現れていることが確認できた。面白いのはこの結果が、もう一つの講演で報告されたPISA(OECD生徒の学習到達度調査)の分析結果と必ずしも一致しなかったことである。PISAの結果では女性の方が国語の得点が高いことは有意に現れているが、理数系、特に理科では必ずしも男性優位とはなっていない。この違いは模試とPISAの問題の差異故に現れたのであろう。言うまでもないが模試はそれぞれの科目で閉じており、問題も極力曖昧なさがないように用意されている。しかしPISAの問題は数学で地図から南極大陸の面積を求めさせたり、地球気温と二酸化炭素の経年変化から温暖化について考えさせる問題等から分かる通り、問題文の読解力が重要で、かつ総合問題的であり、解答が一義的ではない点に特徴がある。性差科学研究会でこのような事実を知ったことから、マスコミが指摘するような皮相的なPISAの点数の経年変化より、むしろ世界的に要求されている学力観と入試、模試で測られている学力が必ずしも同一ではなく、また将来的にはおそらくPISAで問われる学力の方がより有効であることを考えざるを得なかった。またより大きなこととして性差という一見タブー視されていることがフランクに科学の対象として議論されるようになったことに感慨を覚えた。今後の展開を見守りたい。

(H. H.)

[物性研究]

編 集 長

村瀬 雅俊 (京大・基研)

編集委員

北村 光 (京大・理・物理)
古賀 昌久 (京大・理・物理)
武末 真二 (京大・理・物理)
田中 耕一郎 (京大・理・物理)
松本 剛 (京大・理・物理)
陰山 洋 (京大・理・化学)
遠山 貴己 (京大・基研)
戸塚 圭介 (京大・基研)
早川 尚男 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
和田 浩史 (京大・基研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
泉田 渉 (東北大・理・物理)
柳瀬 陽一 (東大・理・物理)
波多野 恭弘 (東大・地震研)
笹本 智弘 (千葉大・理・数学・情報数理)
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)
小西 哲郎 (名大・理・物理)
湯川 諭 (阪大・理・宇宙地球)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
水島 健 (岡大・理・物理)
柴田 達夫 (広大・理・数理分子生命)
吉森 明 (九大・理・物理)
関本 謙 (Paris 第7大学・物理)
大木谷 耕司 (Sheffield 大学・応用数学)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 89 卷第 6 号 (平成 20 年 3 月号) 2008 年 3 月 20 日 発行

発行人 村 瀬 雅 俊

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 ショウワドウ・イープレス
株式会社 田村 徹

〒606-8225 京都市左京区百万遍交差点上ル東側

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

[物性研究]

編 集 長

村瀬 雅俊 (京大・基研)

編集委員

北村 光 (京大・理・物理)
古賀 昌久 (京大・理・物理)
武末 真二 (京大・理・物理)
田中 耕一郎 (京大・理・物理)
松本 剛 (京大・理・物理)
陰山 洋 (京大・理・化学)
遠山 貴己 (京大・基研)
戸塚 圭介 (京大・基研)
早川 尚男 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
和田 浩史 (京大・基研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
泉田 渉 (東北大・理・物理)
柳瀬 陽一 (東大・理・物理)
波多野 恭弘 (東大・地震研)
笹本 智弘 (千葉大・理・数学・情報数理)
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)
小西 哲郎 (名大・理・物理)
湯川 諭 (阪大・理・宇宙地球)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
水島 健 (岡大・理・物理)
柴田 達夫 (広大・理・数理分子生命)
吉森 明 (九大・理・物理)
関本 謙 (Paris 第7大学・物理)
大木谷 耕司 (Sheffield 大学・応用数学)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 89 卷第 6 号 (平成 20 年 3 月号) 2008 年 3 月 20 日 発行

発行人 村 瀬 雅 俊

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 ショウワドウ・イープレス
株式会社 田村 徹

〒606-8225 京都市左京区百万遍交差点上ル東側

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物性研究 89-6(3月号)目次

○講義ノート

「第52回 物性若手夏の学校(2007年度)」..... 745

○編集後記..... 999

○目録(Vol. 88, 89) 1001

物性研究 89-6(3月号)目次

○講義ノート

「第52回 物性若手夏の学校(2007年度)」..... 745

○編集後記..... 999

○目録(Vol. 88, 89) 1001